

# 第3回

## '92選抜女子駅伝 北九州大会

□ 期 日 / 1992年1月19日 (日)  
 □ コース / 小倉北区・勝山公園前ー  
 八幡西区・北九州プリンスホテル  
 折り返し 33.2km

一般・大学の部 5 区間 高校の部 6 区間

### 順位

#### 一般・大学の部

- 1 沖電気宮崎(宮崎) 1° 47'16"
- 2 ダイイチ(広島) 1° 47'53"
- 3 TOTO(福岡) 1° 50'41"
- 4 ニコニコドー(熊本) 1° 52'18"
- 5 九電工(福岡) 1° 53'15"
- 6 九州日本電気(熊本) 1° 55'02"
- 7 鐘紡(山口) 1° 55'13"
- 8 大分選抜(大分) 1° 55'37"
- 9 ベスト電器(福岡) 1° 59'50"
- 10 福岡大学(福岡) 2° 05'17"
- 11 福岡教育大学(福岡) 2° 05'34"

#### 区間賞

- 第1区(4.5km) 森脇 知恵(九電工) 14'00"  
 第2区(5.9km) 麓 みどり(ダイイチ) 18'54"  
 第3区(5.1km) 王 明豊(ニコニコドー) 16'36"  
 第4区(5.9km) 渡辺 里枝(沖電気宮崎) 19'47"  
 第5区(11.8km) デリラ・アジアゴ(沖電気宮崎) 36'55"  
 1区、5区はコース変更による新区間

#### 高校の部

- 1 筑紫女学園(福岡) 1° 51'48"
- 2 鈴峯女子(広島) 1° 52'09"
- 3 西脇工業(兵庫) 1° 52'48"
- 4 信愛女学院(熊本) 1° 53'14"
- 5 九州国際大付(福岡) 1° 53'54"
- 6 壱岐商業(長崎) 1° 54'42"
- 7 西京(山口) 1° 55'18"
- 8 鹿島実業(佐賀) 1° 55'38"
- 9 柳川(福岡) 1° 57'03"
- 10 山田(高知) 1° 57'42"
- 11 大分女子(大分) 1° 59'03"
- 12 神村学園(鹿児島) 2° 00'02"
- 13 由良育英(鳥取) 2° 01'47"
- 14 豊見城南(沖縄) 2° 02'45"

#### 区間賞

- 第1区(4.5km) 大宅 美鈴(鹿島実) 13'49"  
 第2区(5.9km) 永井 明子(西脇工) 19'38"  
 第3区(5.1km) 緒方 静世(信愛女学院) 17'26"  
 第4区(5.9km) 井幡 和代(鈴峯女子) ★19'50"  
 第5区(4.9km) 大浦はと子(筑紫女学園) ★16'43"  
 第6区(6.9km) 中川 育子(鈴峯女子) 21'51"  
 ★は区間新  
 1区、6区はコース変更による新区間



沖電気宮崎4区の渡辺里枝(左)から5区デリラ・アジアゴへたすき渡し

#### 一般・大学の部

### 沖電気宮崎が2年ぶりの優勝 最終区でアジアゴがダイイチを逆転

沖電気宮崎が最終区のエース、アジアゴの快走でダイイチに逆転勝ち。2年ぶり2回目の優勝を飾った。前回・ニコニコドーの松野明美の猛追に屈したダイイチは、今回も同じ展開で辛酸をなめた。

1区は九電工の森脇知恵が健闘。ダイイチに約30m差をつけてタスキを渡した。しかし、ダイイチは2区で麓みどりがすかさず九電工をとらえ、徐々に差を広げた。3位から2位に浮上したTOTOにも100m近く水をあけて3区へ。沖電気宮崎は岩下里美が区間2位の走りを見せて4位から順位を上げ3位に。

アップダウンの激しい3区は、ダイイチの赤沢秀美が無難にこなしてトップをキープ。沖電気宮崎は袴田りえの力走でTOTOを抜き2位へ。4区では順位に変動なく、ダイイチと沖電気宮崎の差も約200mのまま、最終区にタスキが渡った。

沖電気宮崎のアジアゴは長いストライドで快調に飛ばし、ダイイチの原万里子との差をぐんぐん縮め、4.8km付近で一気に追い抜いた。原は5m差のまま1km近く粘ったが、最後は振り切られ、アジアゴが約200mの差をつけてゴールした。3位はTOTO。前回優勝のニコニコドーは松野を欠くなど大幅な戦力ダウンで4位にとどまった。

アジアゴ・沖電気宮崎5区 「調子はまあまあ。最後はちょっと疲れたね」

原万里子・ダイイチ5区 「あっという間に抜かれた。力の差がありすぎるので貯金を守るつもりだったが……」

#### 高校の部

### 「全国女王」の筑紫女学園が2連覇

前年末の全国高校駅伝を制した筑紫女学園が前半でリードを広げて逃げ切った。2年連続2回目の頂点。区間賞は5区の大浦はと子だけだったが、全員が安定した走りで、力を示した。

1区を制したのは前回に続いて鹿島実の大宅美鈴。3km付近で抜け出し、一般・大学の部のトップにも11秒差をつけた。筑紫女学園の芳村奈緒子は16秒遅れの2位だったが、鈴峯女子、西脇工、信愛女学院などの有力チームには大差をつけて2区につないだ。

2区で筑紫女学園の後藤由華子が3km過ぎでトップに立ち、2位に上がった西脇工にも16秒差をつけて3区へ。以降は着実にトップを守った。2位には、最終6区で中川育子が2人抜きの快走をした鈴峯女子が入った。

河村邦彦・筑紫女学園監督「予定通りの展開でした」

香川正義・鈴峯女子監督「1、2区に新人を使うなどしてチーム力を試した。それだけに優勝した時よりうれしい」



2連覇した筑紫女学園のアンカー・下司則子